

記者会見要旨  
(2019年9月18日)

挨拶

1. 日本公認会計士協会会長の手塚正彦でございます。よろしくお願い申し上げます。
2. 本日は、第40回日本公認会計士協会研究大会千葉大会2019の記者会見にお越しいただきありがとうございます。協会会長として一言ご挨拶申し上げます。
3. はじめに、先日発生した台風第15号は大きな被害をもたらしました。特に千葉県では、いまだに千葉県南部を中心に約6万戸の停電が続くなど大きな被害が発生しています。被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。このような困難な状況において、本研究大会を開催できたのは、千葉会の会員及び関係各位のご努力の賜物であり、心から敬意を表します。
4. この研究大会は、社会との交流を深め、公認会計士の社会的発言の方途にしようとの趣旨の下、1979年に第1回大会を開催し、回を重ねて、今回、千葉で40回目の開催を迎えることができました。また、2016年4月に設置された千葉会にとって初めての開催となります。
5. 千葉大会の内容につきましては、田中実行委員長からお話し申し上げますので、私からは、日本公認会計士協会の最近の動向についてお話しいたします。
6. 本年7月から日本公認会計士協会は、新執行部での体制がスタートし、約2か月が経ちました。新執行部として今後3年間で何を実施するか議論を重ねており、まだ具体的にお話できる段階には至っておりませんが、お話できる段階になりましたら折に触れてお伝えしたいと考えています。
7. 基本的には、前執行部がこれまで積み重ねた実績や課題を引き継ぐと共に、新たな課題にも全力で取り組んでいく所存であります。
8. 現在、協会には約38,000人の会員、準会員が登録していますが、監査法人勤務の会員は半数を切っています。会員の多くは、全国各地で様々な分野で活動しておりますので、私は、地域に在住する会員へのサポートを、当協会の最も重要な課題のひとつとして掲げています。
9. そのために新執行部では、「地域活性化」を担うための役職を新設しました。千葉会をはじめとする全国の地域会と連携して、地域の自治体や経済団体などと協力して、公認会計士が地域の活性化にどのように貢献できるかを具体的に検討したいと考えています。
10. また、多様化した公認会計士の働き方への支援やネットワーク構築の促進のために、従来やってきた女性会計士活躍促進協議会、社外役員会計士協議会、組織内会計士協議会を通じた取組について相互連携を促進するために、これらを束ねた「ダイバーシティ・ネットワーク」という役職も新設しました。ダイバーシティ・ネットワークの取組も、地域社会における公認会計士の活躍という観点で非常に重要であると認識して

います。協会の職務分担については、お手元の資料1をご参照ください。「社会応援」の中にそれぞれの役職が記載されています。

11. 協会会務に取り組むに当たり、引き続き監査に対する社会からの信頼を確立することに注力することはもちろんですが、公認会計士が社会からの多様な期待に応え、社会からの信頼を得て、多様な領域で社会に貢献できるよう、諸施策に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いいたします。

#### 第40回日本公認会計士協会研究大会 千葉大会 2019 について

12. 実行委員長の田中昌夫でございます。
13. 早速ですが、先日発生しました台風第15号の影響により甚大な被害を受けられた方々及び事業者に対して、心からお見舞い申し上げます。台風の通過は9月9日早朝でしたが、日を追うごとに被害の大きさが発覚してきました。研究大会の実施の有無も検討しましたが、実行委員会で検討した結果、救援募金の実施のための募金箱の設置など、研究大会でできる被災者の方々への応援・支援等を決定し、研究大会を実施することといたしました。
14. さて、40回という節目となる記念の研究大会です。ここ幕張メッセは、来年の東京オリンピック、パラリンピックの会場にもなります。約1,500名の会員・準会員の皆様にお越しいただいておりますが、皆様にとって良い思い出となる研究大会にしたいと思っています。
15. 午前に行われる開会式には、関東財務局長 北村 信様、千葉商工会議所会頭 佐久間英利様をご来賓にお迎えして開催いたします。当初は千葉県知事 森田健作様、千葉市長 熊谷俊人様のご来賓も予定していましたが、災害の影響で昨日欠席のご連絡をいただきました。
16. 記念講演は、千葉に本社を置くキッコーマン株式会社 代表取締役社長 CEO 堀切 功章様より、「キッコーマンの成長戦略 ～キッコーマンしょうゆを“世界の調味料”へ」をテーマにご講演いただきます。
17. 午後は10テーマに分かれて研究発表が行われます。今、会計・監査をめぐる環境も大きく変化しています。「会計・監査 新時代 ～公認会計士と地域との共創～」をテーマに、日ごろの研究活動の成果を発表してもらいます。
18. 研究発表終了後、記念パーティを開催します。地元の食材による郷土料理に加えて、銚子正調大漁節ひびき連合会による演舞、さらに千葉を本拠地とする地元プロバスケットチーム 千葉ジェッツふなばしのフライトクルー・チアリーダーズによるパフォーマンスもお楽しみいただきます。
19. 千葉会の実行委員会そして事務局が十分に時間をかけて準備してきた研究大会が、成功裏に開催されることを祈念いたします。

#### 千葉会の最近の動き

20. 千葉会会長に今年6月から就任しました庄司基晴と申します。千葉会として2人目の会

長となります。

21. 早速ですが、先日発生しました台風第 15 号の影響により甚大な被害を受けられた方々及び事業者に対して、心からお見舞い申し上げます。千葉会としても災害発生時に専門士業が被災者を全力で支援するための団体に参加する予定です。また、本研究大会においても救援募金の実施を急ぎよ決定し、集まった募金はボランティア団体等、関連する適切な団体に寄付する予定です。
22. さて、千葉会は単独地域会として東京会から独立してまだやっと 4 年目ですが、田中前会長の英断そして応えた会員・職員の全員の献身的ともいえる協力によって今日の開催に漕ぎつけることができました。
23. 千葉会は会員数 840 名前後です。千葉会の特徴としては、首都圏に位置することもあり大手監査法人のOBと、逆に早く大手を退職し自分で起業してコンサルや税務で頑張っている若い会員の割合が他の地域会に比較して多いことが挙げられます。このような会員の方々へ千葉会としてどのようなサポートが可能なのかを考えています。
24. 東京会から分離独立したと申し上げましたが、これも人口減少社会の本格的到来や地方経済の空洞化等が懸念される中で求められている持続可能社会の構築・その維持・管理が急務であり、そのような状況と関係しているのかなと感じずにはられません。
25. 今まで以上に地方活性化やふるさと創生に当たって、地元密着型の地域会の積極的な役割が期待されており、非常に重要な役割を担っていると感じています。
26. 実際既に地方に根を張る一定規模以上の社会福祉法人、医療法人監査、そして農協監査の義務化が生じておりますが、今後は地方自治体財務書類作成支援や自治体外郭団体経営支援等さらに幅広い分野でも期待されております。
27. 最終的には各会員に頑張ってもらうこととなりますが、そのための活動支援や情報発信機能を地域会が積極的に担っていくことが必要不可欠であるからです。
28. 先程申し上げましたように千葉会のメンバーには大勢の大手監査法人OBがおります。60 歳前後で定年退職された方々が、その後一切業務をしないというのはあまりに勿体なく、社会的にも損失だと感じており、さらに力を発揮していただきたいと考えています。そのような世代で既に活躍されている方も沢山いらっしゃいますが、是非とも彼らにももう一度チャレンジしてもらい、地域活性化に一役買ってもらうつもりです。
29. また、千葉会として機関決定しているわけではなく、私の個人的な構想ではありますが、30 代から 40 代でロスジェネ世代といわれる方々に、社会へ積極的に参加していただけるような再チャレンジの機会をもう一度提供できるよう、他の士業とも協力して人材育成支援にも力を入れていきたいと考えております。
30. 地域会も今までの会員サービスはもちろん今後は地域貢献に積極的に関わっていききたい所存です。是非とも今後の我々地域会の活動にもご注目いただければ幸いです。

以 上